

Nagoya Saturday Baseball

2025

■規約

- ・Nagoya Saturday Baseball 参加チームは、以下に定める規約・規定を遵守するものとする。本リーグに参加申請した時点で本規約・規定に同意したものとする。
- ・主催者は、本規約・規定を参加チームの事前の了承を得ることなく、変更・追加ができるものとする。
- ・参加チームが参加を継続した場合、新しい規約・規定を承認したものとする。
- ・対戦及び対戦にかかわる行為によって生じた事故、怪我、感染等に関して主催者は一切の責任を負わないものとする。
- ・近隣住民とのトラブルについても、主催者は一切責任を負わないものとする。
- ・本リーグの公式ホームページ・SNS 内で展開する全ての情報・画像の著作権は主催者に帰属するものとし、参加者は肖像権等を主張できないものとする。
- ・主催者並びに参加者は、本リーグ運営上知り得た参加チーム及び個人の情報を本リーグ運営目的以外で使用してはならない。

■規定

●運営

- ・リーグ開催期間は3月開幕から12月閉幕までの10ヶ月間とする。
- ・2025年度は3月～7月までの未消化試合を8月の日程調整期間に実施、3月～7月までの未消化試合に加えて9月～11月までの未消化試合を、12月の日程調整期間に実施するものとする。
- ・12月の日程調整期間までに消化できなかった試合については未消化試合のまま処理するものとする。
- ・本リーグの参加・継続申請は前年10月1日～1月末日までとする。
- ・参加チームは、代表1名・副代表（または窓口）1名を決定し、どちらかが必ず2月実施の代表者会議に参加すること。両者の都合が悪い場合は、代理人（チーム幹部）を選抜する。
- ・本リーグは全参加チーム数が15チーム以下の場合は1リーグ制、16チーム以上の場合は、前年度の成績を考慮した2リーグ制を採用する。2リーグ制を実施する場合の新規参加チームは、1部 GOLD・2部 SILVER の所属を選択できるものとする。
- ・参加チームは事前にチーム登録、個人登録をすること。
※新規参加チームは選手名簿（選手名、背番号）を運営まで連絡する。（2月末日締切）
※選手の追加登録は必ず試合前日までに事務局へ連絡する。
※不戦敗を避けるため、本リーグに所属する他チームの選手を“リーグ内助っ人”として登録を認める。ただし、必ず試合前日までに登録をすること。
（“リーグ内助っ人”の人数上限は無し、背番号の登録は必須）
※“リーグ内助っ人”の登録の際は名前の後ろに所属チームの略称を記入する事。
（例：加藤 亮臣(CH)）

※“リーグ内助っ人”で出場した選手の成績は、自チームの成績に反映しない。

※対戦チームからの“リーグ内助っ人”も認めるが、その試合中に自チームに戻ることは認められず、成績も反映しない。(その際も必ず試合前日までに事務局へ連絡すること)

※グラウンドでプレーしている自チームのユニフォーム未着用の選手は2名までとする。

(交代時等のユニフォーム貸し借りは可)

※自チームのユニフォーム未着用の選手は、バッテリーでの出場を認めない。

※“リーグ内助っ人”は、バッテリーでの出場を認めない。

- ・本リーグは参加チームが使用するグラウンドを確保する自主対戦型であり、使用グラウンドは原則対戦チーム間で用意する。その使用料は、対戦チーム間で折半とする。

グラウンドの確保は事務局ならびに、全参加チームが協力する。

- ・代表者会議で決定した対戦予定に沿った試合を消化し、雨天中止などが発生した場合、原則同じ月に再戦予定を組む。(難しい場合は日程調整期間を利用する)

- ・雨天中止等の事情を除き、月間2試合以上を消化する。

※その月の対戦予定チームを優先し、どうしても日程が合わない場合は

前倒しをして、別の月の対戦相手との対戦を認める。

- ・対戦予定チームと試合日程についての交渉は、各チームが事前にリーグに届け出た連絡先のいずれかを利用する。

- ・対戦予定チームの両チームの同意がある場合に限り、日曜・祝日での試合消化を認める。

- ・対戦日が決定したら、どちらかのチーム代表者が速やかに事務局に報告する。

※事務局に報告がない場合、これを対戦とは認めない。

※対戦が決定した後のキャンセル(試合日の変更含)で生じたグラウンド使用料等の経費は、キャンセルした側が全額負担する。(不戦敗含)

※その場合のグラウンド使用权は両者にある。

- ・対戦予定日の1週間前(前週土曜)までであれば日程の変更を認める。

- ・対戦週の月曜日までに人数が不足している場合、速やかに事務局まで連絡し、火曜日までにリーグ内助っ人を含めた人数の確保に努めること。

- ・水曜日以降の人数不足は不戦敗扱いとする。ただし、水曜日以降に人数が確保できた場合、相手チームの承諾が得られれば試合の消化を認める。

- ・12月の日程調整期間までに対戦可能な日程を提示したチームにおいて、提示された日程で相手チームがリーグ戦を組んでいないのにも関わらず対戦を拒否した場合、提示したチームは不戦勝となり、拒否したチームは不戦敗とする。

※双方に日程を提示していたが決まらない場合、当事者同士の話し合いで未消化試合とする。

- ・試合結果は原則勝利チームがメールもしくはLINEで試合後速やかに事務局に報告する。

- ・両チーム分のスコアブックとメンバー表は原則勝利チームが、対戦日より7日以内に事務局に提出する。7日を過ぎたものに関してはこれを認めない。(未対戦として処理する。)

- ・速やかに対戦結果を更新するため、LINEでスコアブックとメンバー表の写真を提出する事も可とする。LINEで写真を送った場合、Excelでの提出は不要とする。

※入力者の事を考え、影などが写らない様に“必ず全体が鮮明に”見えるように、両チーム分の写真は見やすく撮ること。(スコア内容と得点表が見える様に撮影すること)

※選手交代のタイミングが分かる様に記載すること。(打者・投手・守備位置)

→規約の最終ページに書き方の例を掲載

- ・チーム成績はポイント制（勝ち点制）をもって決定する。

勝ち 3P・引き分け 1P・負け 0P・不戦勝 3P・不戦敗 -3P・未消化試合 -3P

ポイント（勝ち点が同点の場合の優先順位）

- ①勝数の上位
- ②直接対決の結果
- ③直接対決試合総得点数の上位
- ④直接対決試合総失点数の下位
- ⑤直接対決試合チーム総安打数の上位

- ・個人成績のシーズン規定打席は 32（16 試合×2.0）とし、規定投球回は 32（16 試合×2.0）とする。

ただし、不戦敗・未消化試合は規定打席・規定投球回に含み、不戦勝は含まない。

- ・投手防御率は失点率とする。
- ・途中退会の場合、当該チームの成績はリーグの順位や個人成績に加味されない。
- ・途中退会したチームとの対戦成績、個人成績は無効とする。
- ・その他必要に応じて代表者会議において別途協議する。
- ・全チームの代表者に確認のもと了承が得られた事項については、その年度においてのみリーグ特例として運営を行っていくものとする。
- ・スポーツ保険、その他安全装備は各チームの任意とする。(強く推奨)

※不慮の事故、感染等が発生した場合、本リーグでは責任を負いません。

●試合

- ・試合における規則は全日本軟式野球連盟に準じる。
- ・試合は7イニング制、4回裏終了をもって成立とする。
よって先発投手の責任投球回は4回となる。
4回裏以降得点差10点以上でコールドゲームとする。
試合前後のグラウンド整備等（ライン引き等含）は対戦チーム間で協力し、速やかに行う。
- ・同点は最大2イニングの延長を認める。(タイブーク制ではない)
それで決着がつかない場合は引分けとする。延長突入時、各チームのメンバーに欠員が生じ試合続行不可能となった場合は、欠員したチームの敗戦とする。
引き分けについては、両チーム間で合意の上処理する。

- ・試合時間は各球場の利用時間に準じ、利用可能時間の 20 分前の時点で、次の回には入らない事とする。
- ・対戦前に必ずメンバー表を交換する。控え選手も必ず記載する。
※メンバー表に記載の無い選手（名前・背番号）は出場できない。
- ・指名打者制度は利用可能とする。（ただし、10 人以上での攻撃は認めない）
- ・指名打者制度は全ポジションに適用可能とする。
- ・試合開始時刻において、遅刻などで試合を開始できない場合、棄権（不戦敗）とする。
怪我等で欠員が発生し試合が継続できない場合、当該チームは敗戦と同様（OP）とする。
この場合、勝利チームが選択すれば再戦も可。
- ・試合開始時点で自チームで 9 人揃っている場合は、“リーグ内助っ人”の出場は、不可とする。
ただし、メンバーの早退による不戦敗を避けるための“リーグ内助っ人”であれば、対戦チームの了解を得る事で、出場を認める事とする。
- ・試合球は事務局支給の公認 M 号球（トップボール）の新品を対戦 2 チームが各 2 球以上グラウンドに持込み使用する。
- ・ユニフォーム等は同一のものを着用すること。
ユニフォームが準備中の場合でも最低限、帽子は同一のものを着用する。
- ・スパイクは樹脂製のポイントのものとする。（金属歯の使用は認めない。）
- ・試合前の集合、挨拶の時に自チーム・相手チームの選手を確認し、金属歯のスパイク使用者はその場で運動靴等に履き替えさせる。（履き替えるものがない場合は出場できない。）
- ・途中で試合に合流した選手が使用していた場合は、発覚時点で履き替えさせる。
※注意を受けた選手がそれでも着用した場合は、即不戦敗とする。
- ・打者はヘルメットの着用を義務とする。ヘルメットの着用をしていないものは打席に立つことを認めない。（チームでの準備を強く推奨）
- ・全ポジションにサングラスの使用を認める。（ただし、投手のミラーレンズの使用は不可）
- ・野手がサングラスを庇の上に載せて利用する事を認める。
- ・守備時の隠し球は禁止とする。
- ・インプレー中のランナーコーチとの接触は禁止とする。
- ・大谷ルールは先発投手に限り"先発投手兼指名打者"として適用を認める。

● 審判

- ・審判は、攻撃側とする。（派遣審判の採用は可、その費用は対戦チーム間で負担する。）
※派遣審判の連絡先は別途名簿に記載。
- ・判定には原則抗議を認めないがチーム代表者によるアピールは認める。
判定が覆らない事による、暴言・暴動は一切禁止とする。
当該行為が確認され、対戦チームから指摘を受けた場合、選手は退場とする。
退場により試合が続行できなくなった場合、対象チームは不戦敗とする。
- ・試合中における中傷、野次は禁止とする。

- ・主審の判断で退場を命じることができる。
- ・暴力行為があった場合、その暴力行為を起こした当該チームは本リーグより永久追放するものとする。

●年間表彰

- ・別途記載

●運営資金

- ・年間登録費は1チームあたり年間¥65,000とする。
- ・新規参加チームは初年度特割として年間¥55,000とする。
- ・事務局指定口座に2月末日までに入金する。(途中退会は返金しない)
- ・継続及び新規参加の申請をした時点で、参加チームはその支払い義務が生じる。
- ・運営資金は試合球の購入、チーム表彰品、個人表彰品、事務局運営費等に充当する。
- ・運営資金は必要に応じて代表者会議の承認を得た後、別途徴収することがある。

2025年表彰

【チーム表彰】

Division1	GOLD	Division 2	SILVER
優勝	7万円	優勝	5万円
準優勝	3万円	準優勝	2万円
三位	1万円	三位	1万円

【個人表彰】（各個人賞の表彰は1部・2部ともに2,000円分のスポーツデポ商品券）

●打撃部門

- ・最高打率賞
- ・最多打点賞
- ・最多本塁打賞
- ・最多安打賞
- ・最多盗塁賞
- ・最多得点賞
- ・最多出塁率賞

●投手部門

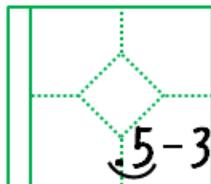
- ・最優秀失点率賞
- ・最多勝利投手賞
- ・最多奪三振賞
- ・最高救援投手賞※
- ・最多投球回投手賞

※最高救援投手賞については、2以上の救援成績を残した者が対象となる。

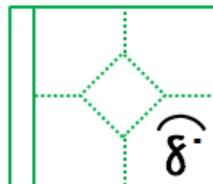
【打撃成績記入例】

下記のように線が文字を横切らない様に記入してください。

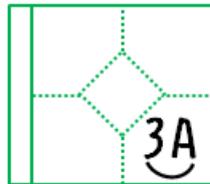
安打は“必ず赤線”で記載。



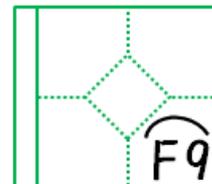
三塁ゴロ
・ライン際



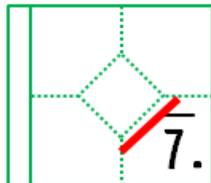
中堅飛球
(センターフライ)



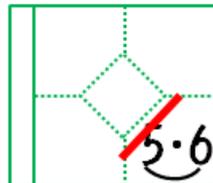
一塁ゴロ
(ファーストゴロ)



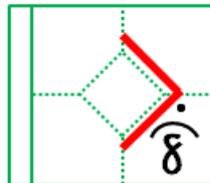
右翼邪飛
(ライトファルフライ)



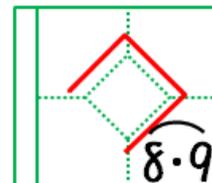
左翼前安打
(レフト前ヒット)



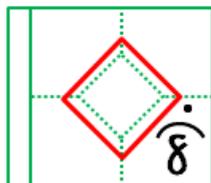
三遊間安打



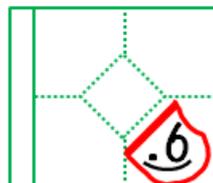
中堅越二塁打
(センターオーバー・サーバース)



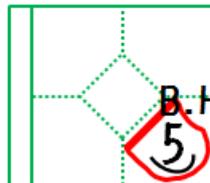
右中間三塁打
(右中間リバーース)



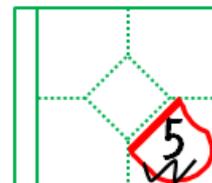
本塁打
(ホームラン)



遊撃ゴロ
内野安打



三塁前バント安打
(サード前バントヒット)



三塁前内野安打
(サード前高いバント)

【打者交代記入例】

↓波線でも可

シート	先	攻	打	1	2	3
8	8	関川	1			
PH	10	平塚	11	XXX		
			21	I		
			31	K		
			41			7
4	4	御子柴	2			
			12	II		
			22			
			32			
			42			6

